

年頭挨拶



洞爺湖町議会議長

大西 智

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい新年を皆さまとお迎えできることを心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に対しまして、深いご理解、ご指導ご協力を賜っておりますこと議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年は、元旦に発災した石川県能登半島地震をはじめ、宮崎県日向灘沖地震など、自然災害の猛威を改めて感じた年であります。当町でも活火山の有珠山を抱え、前回の噴火から24年が経過し、今後の噴火災害の備えが急務であると考えております。町民の皆さまのご協力をいただきながら、自助・共助・公助の各々の役割に基づき、さらなる防災対策の構築を進めていかなければならないと思っています。

また、日本国内の社会情勢、生活環境は原油価格の高騰、インフレによる食糧品価格等の高騰など、特に地方での生活環境に大きな影響が生じております。

このようなことから、当町におきましても物価高騰に伴う生活支援対策をはじめ、観光・漁業・農業・商工業の地域振興策について、引き続き町や関係機関および関係団体と連携しながら、今後の事業効果を検証し、必要な対策を講じなければならないと思います。

当議会におきましては、委員会の活発な活動、議会の主導的な活動に取り組み、町民の皆さまの意思を反映するよう努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さま方にとってより良い年となりますようにお祈り申し上げますと共に、皆さまのご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



洞爺湖町長

下道 英明

あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政運営に関して多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、神奈川県箱根町と友好都市の絆で結ばれてから60年を迎えました。長く苦楽を共にして築いた友誼は、両町の発展を約束するかけがえのないものです。先人が刻んだ交流の軌跡を次の10年につなげるため、新年も結束を深めていく所存です。

また、縄文遺跡を抱える自治体の代表が集まる縄文シティサミットが15年ぶりに町内で開催されました。遺跡を活用した全国のまちづくりに触れるとともに、入江・高砂貝塚の特色を再認識する貴重な機会を得ることができました。貝塚が今に伝える縄文文化の魅力を後世に伝えるべく、今後も知恵を絞ってまいります。

さて、昨年は元旦に石川県能登半島地震が発災し、年明けから地震大国である我が国特有のリスクを思い知らされました。甚大な被害を受けた被災地は今なお復旧・復興の途上にあり、能登に暮らす多くの方々が苦しい生活を強いられています。

町では今年、火山砂防フォーラムを開催し、噴火災害の対策を考えます。当町と同じく、火山と共生する全国の自治体の知見を学び、より強力な防災体制の構築のために研鑽を重ね、町民の皆さまの安心・安全を守り抜く決意です。

2025年が皆さまにとって素晴らしい年となりますよう、職員一同、職務に精励してまいります。皆さまのご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。